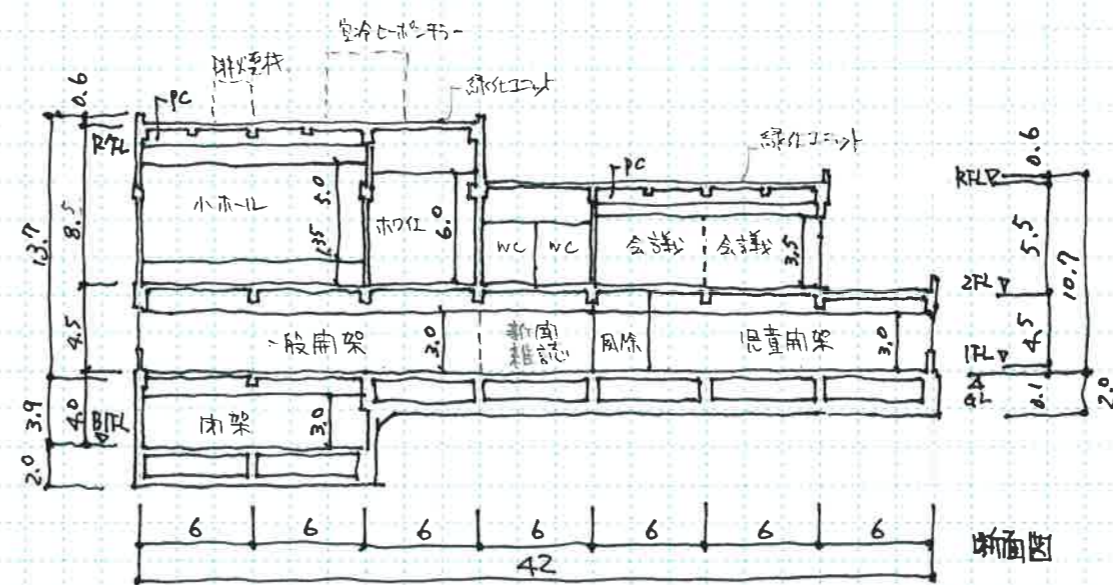
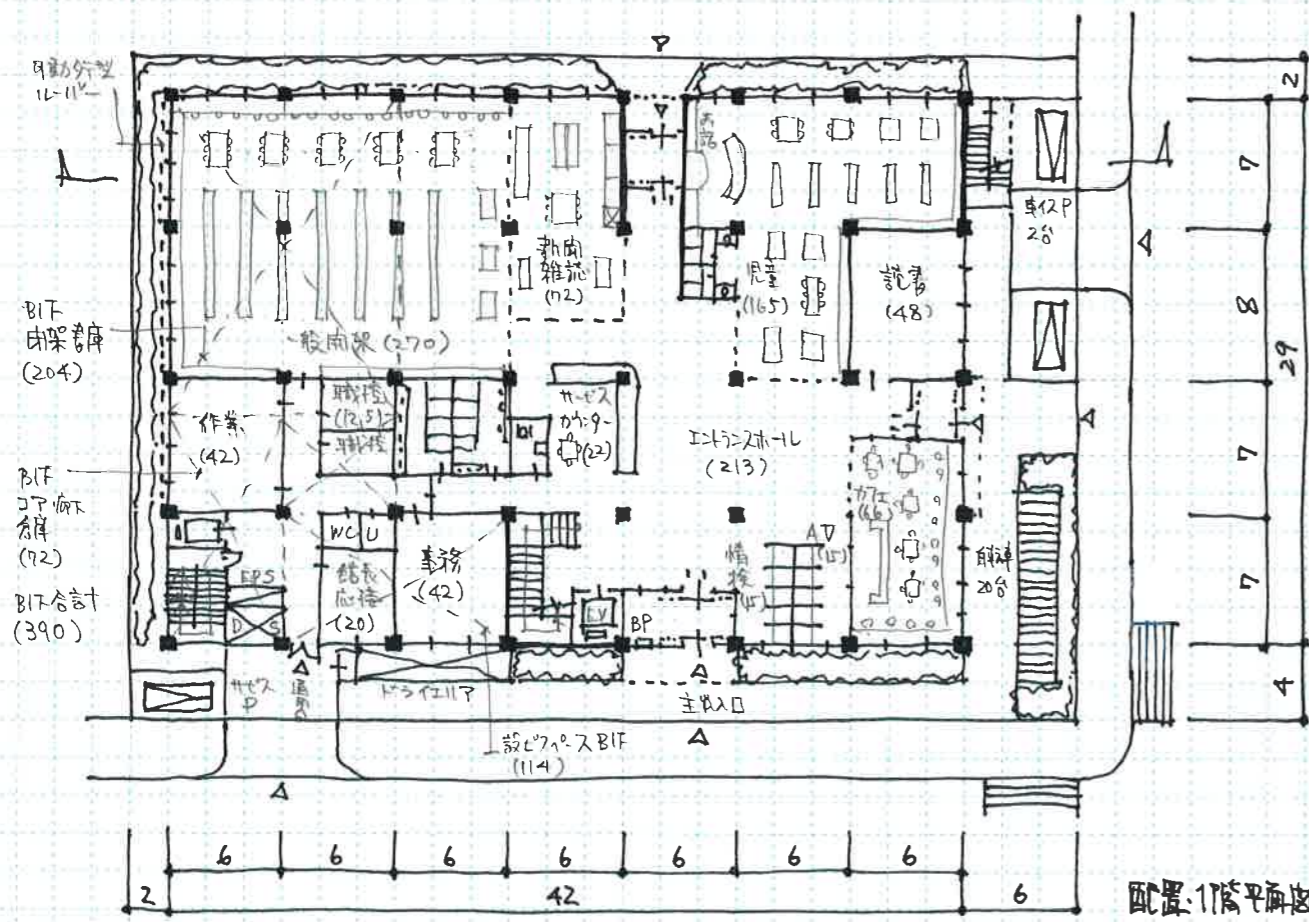


- 構造要素
 - EW 耐力壁
 - PC プラスチックコンクリート梁
- 構造部材表

C1	柱1	700x700
C2	柱2	800x800
G1	大梁1	500x800
B1	小梁1	300x600
B2	小梁2	300x500
S1	スラブ1	200
CS1	鉄筋スラブ	150
- 特記事項

柱	C1
大梁	G1
小梁	B1
スラブ	S1



面積表			
床面積	ZF	42x29 - 12x14 - 6x15 = 960	960
	1F	42x29 - 3x2 = 1212	1212
	合計	960 + 1212	2172
率%		42x29 + 6x0.5 = 1215 / 1950	69.43%

- 計画の要点
 - ① 一般用果スペース
 - 公道に向け、開放性・静寂性
 - サニタリーと近接の動線による利便性
 - 管理動線確保による機能性
 - サニタリーカウンター
 - 建物の中心、各出入口からの視認性
 - 各雨架からのスムーズな動線による発出の利便性
 - 小ホール
 - 階高の高い小ホールと交差点が露出の上より
 - 建物の威圧感を減らし、親近感と開放感
 - 2Fホールから1Fホールと続くスムーズな動線
 - スラブ上に管理動線の確保による機能性
 - カフェ
 - 交差点を面し、上部吹抜による天井の明るく開放的な空間
 - ジョイントからの視認性による動線の小切りやすさ
 - ② 建物内部を自由に巻巻と繋ぐ深さの手がかりを確保しつつ、建物外への誘出と管理するため出入口にBDSを設置。各サニタリーからの視認性
 - ③ 残差をR/Cにて、ラック床、階段、手すり等のEV・WC、廊下・雨架内の余裕の確保
- (2) ① 鉄筋コンクリート造、ラーメン架構、均等スラブ制
 - 耐久性、耐火性、経済性、自由な平面計画
 - ② 無柱大空間、遮音性によるRC造、屋根梁はPC梁
 - 3Fの梁架構は3Fの残差は鉄骨造
- (3) ① 雨架のジョイントの防止のため、ジョイントは吹出天井に設置し、吹出天井の吹出と天井の吹出を確保する。
 - ② 2面上部を吹出、自然採光を確保、両面吹出は移動型天井を設置
 - 採光天井は天井に照明設置が可なり、両面吹出のAC吹出量の増加
 - ③ 2F、AC吹出天井はDS-E2天井とし、天井と天井の残差は天井と天井の吹出天井よりDS-E2天井とする。

図案
2012.10.15 (7)